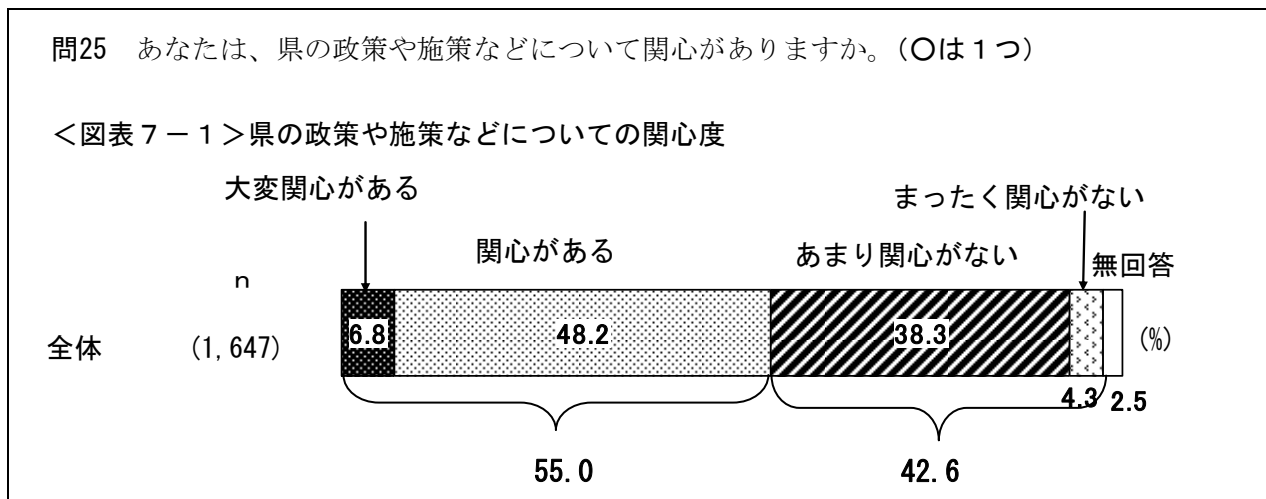


7 広報・広聴活動について

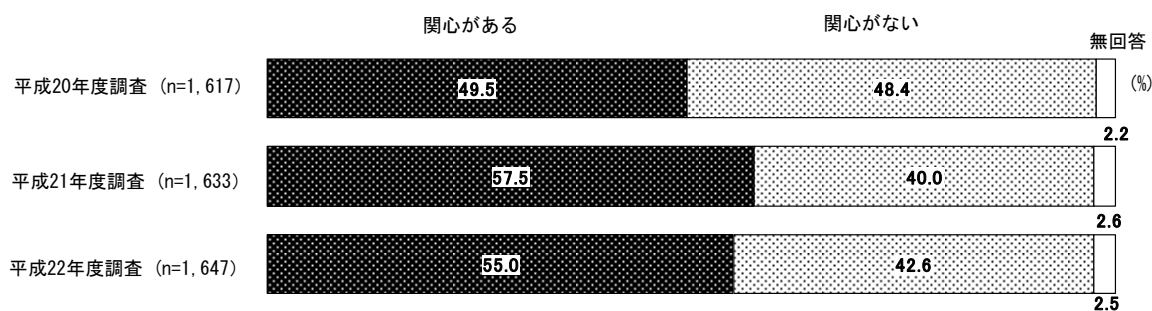
(1) 県の政策や施策などについての関心度

◇『関心がある』は5割半ば



県の政策や施策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(6.8%)、「関心がある」(48.2%)を合わせた『関心がある』(55.0%)は5割台半ばである。一方、「あまり関心がない」(38.3%)と「まったく関心がない」(4.3%)を合わせた『関心がない』(42.6%)は4割台となっている。(図表7-1)

【参考】平成20年度・平成21年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



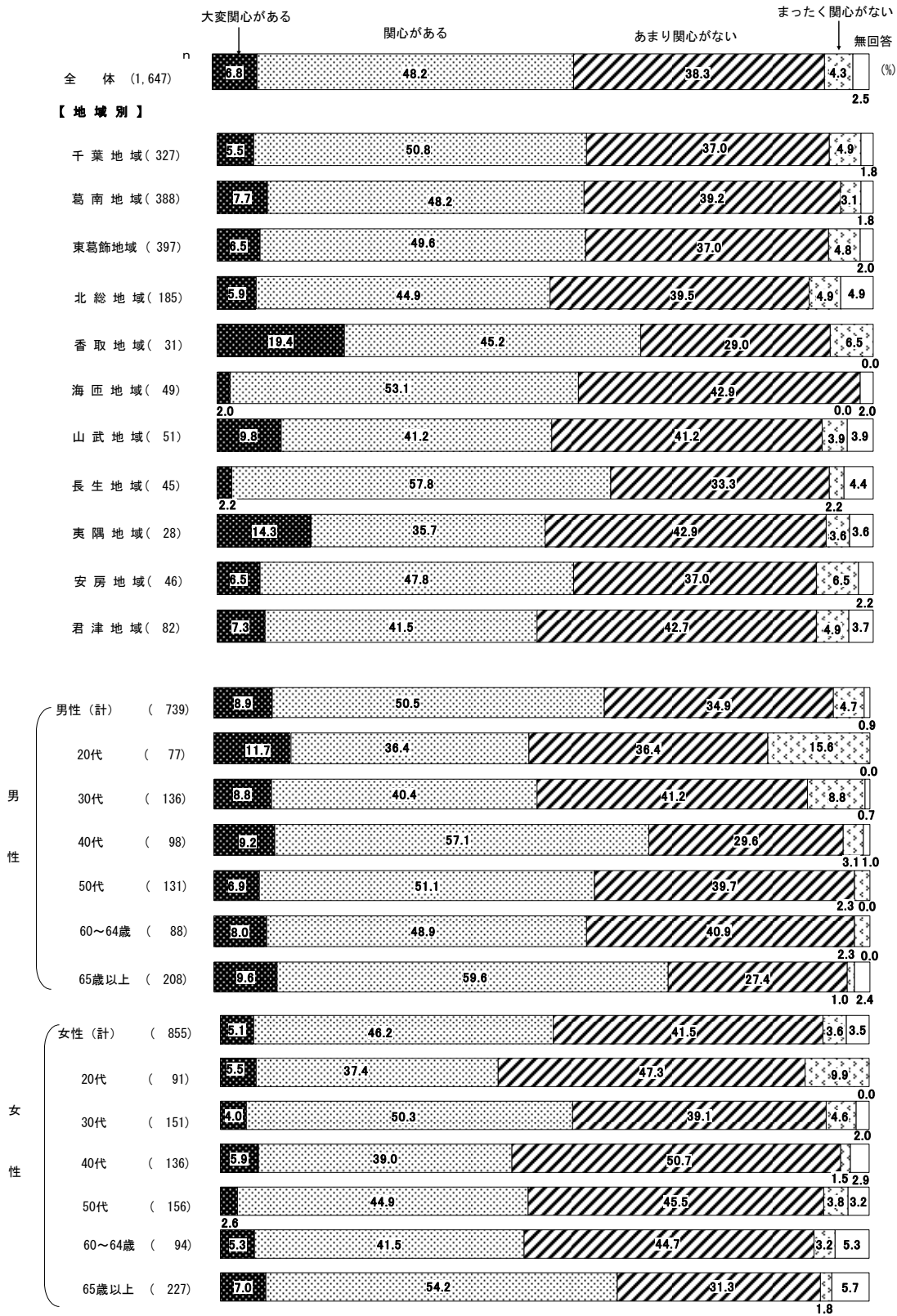
【地域別】

地域別にみると、『関心がある』は“香取地域”(64.6%)が6割台半ばと、他の地域に比べて高くなっている。(図表7-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある』は男性の65歳以上(69.2%)が約7割で他の年代に比べて高くなっている。一方、『関心がない』は女性の20代(57.2%)が約6割で他の年代に比べて高くなっている。(図表7-2)

<図表7-2> 県の政策や施策などについての関心度／地域別、性・年代別

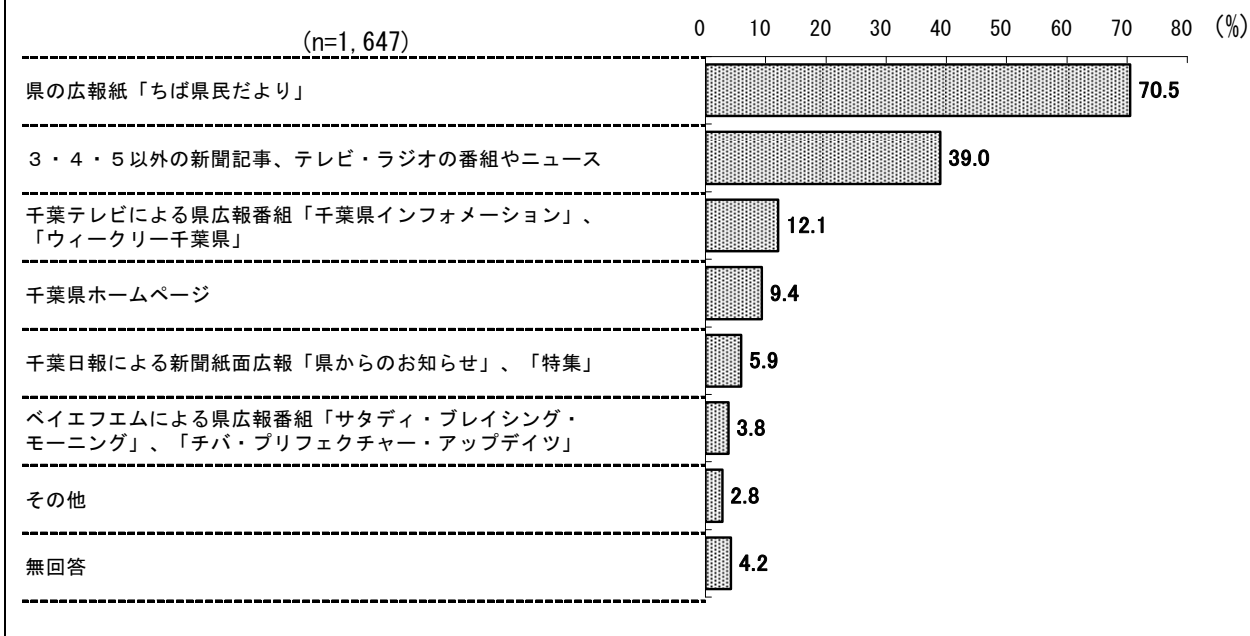


(2) 県政に関する情報を得る手段

◇「県の広報紙『ちば県民だより』」が7割

問26 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。(〇はいくつでも)

<図表7-3> 県政に関する情報を得る手段 (複数回答)



県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県の広報紙『ちば県民だより』」(70.5%)が7割と最も多く、以下、「3・4・5以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(39.0%)が約4割、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」(12.1%)が1割を超え続いている。(図表7-3)

(※「3・4・5以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、3・4・5とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、 「特集』』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、 「ウィークリー千葉県』』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・ブレイシング・モーニング」、 「チバ・プリフェクチャー・アップデート」』を指す)

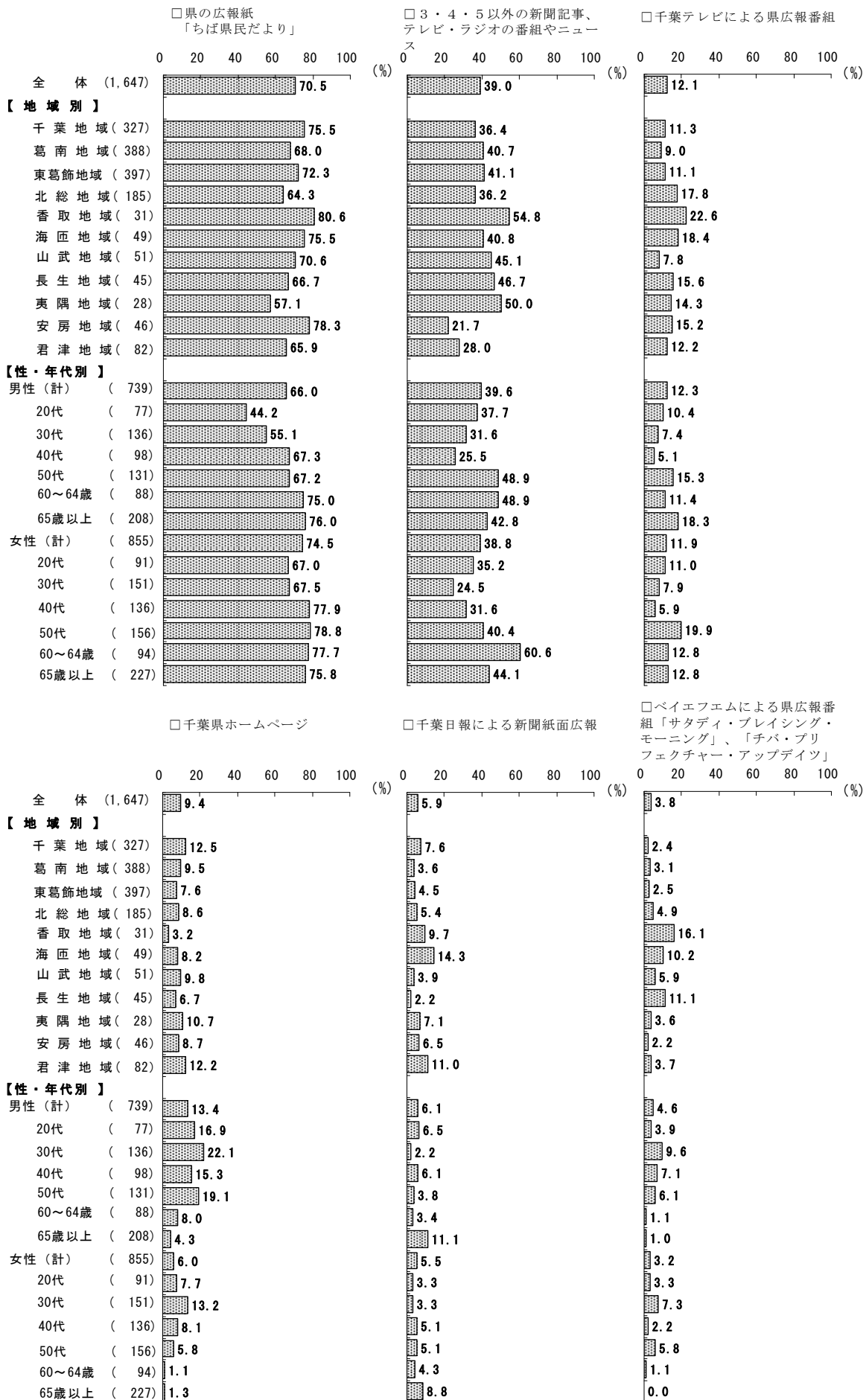
【地域別】

地域別にみると、「県の広報紙『ちば県民だより』」は、“香取地域”(80.6%)、“安房地域”(78.3%)が約8割と、他の地域に比べて高くなっている。「3・4・5以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」は“香取地域”(54.8%)が5割台半ばと、他の地域に比べ高くなっている。(図表7-4)

【性・年代別】

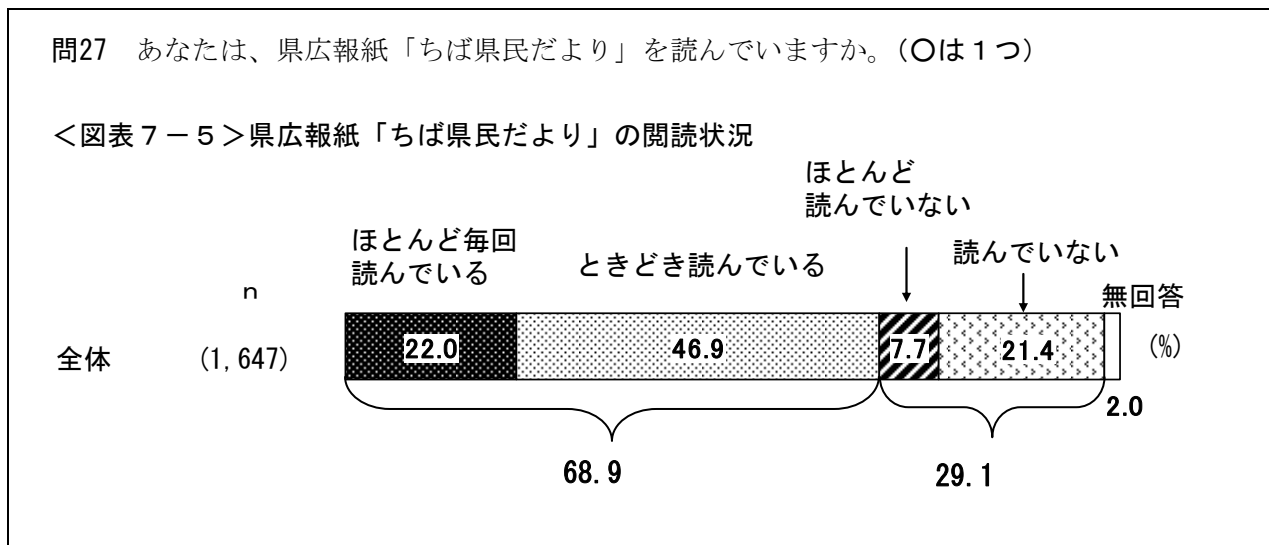
性・年代別にみると、「県の広報紙『ちば県民だより』」は男性の20代(44.2%)、30代(55.1%)を除き6割を超えている。「3・4・5以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」は女性の60～64歳(60.6%)が6割で他の年代に比べて高くなっている。「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」は、女性の50代(19.9%)、男性の65歳以上(18.3%)が約2割で他の年代に比べて高くなっている。(図表7-4)

<図表7-4> 県政に関する情報を得る手段／地域別、性・年代別（上位6項目）



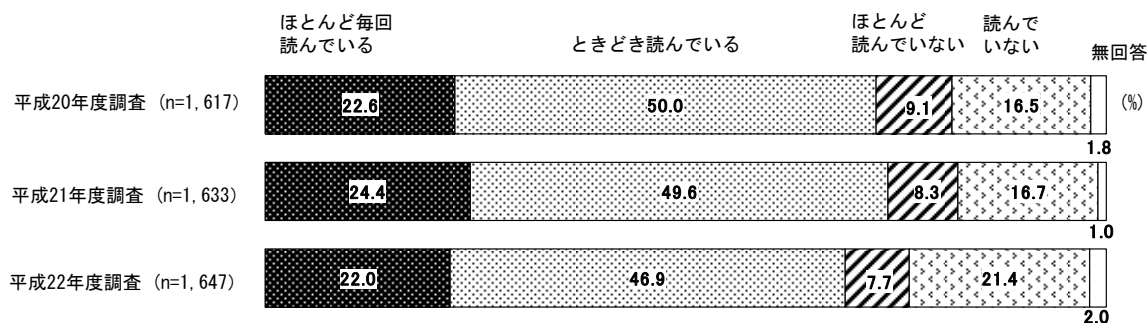
(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

◇『読んでいる』は約7割



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(22.0%)、「ときどき読んでいる」(46.9%)を合わせた『読んでいる』(68.9%)は約7割である。一方、「ほとんど読んでいない」(7.7%)と「読んでいない」(21.4%)を合わせた『読んでいない』(29.1%)は約3割である。(図表7-5)

【参考】平成20年度・平成21年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



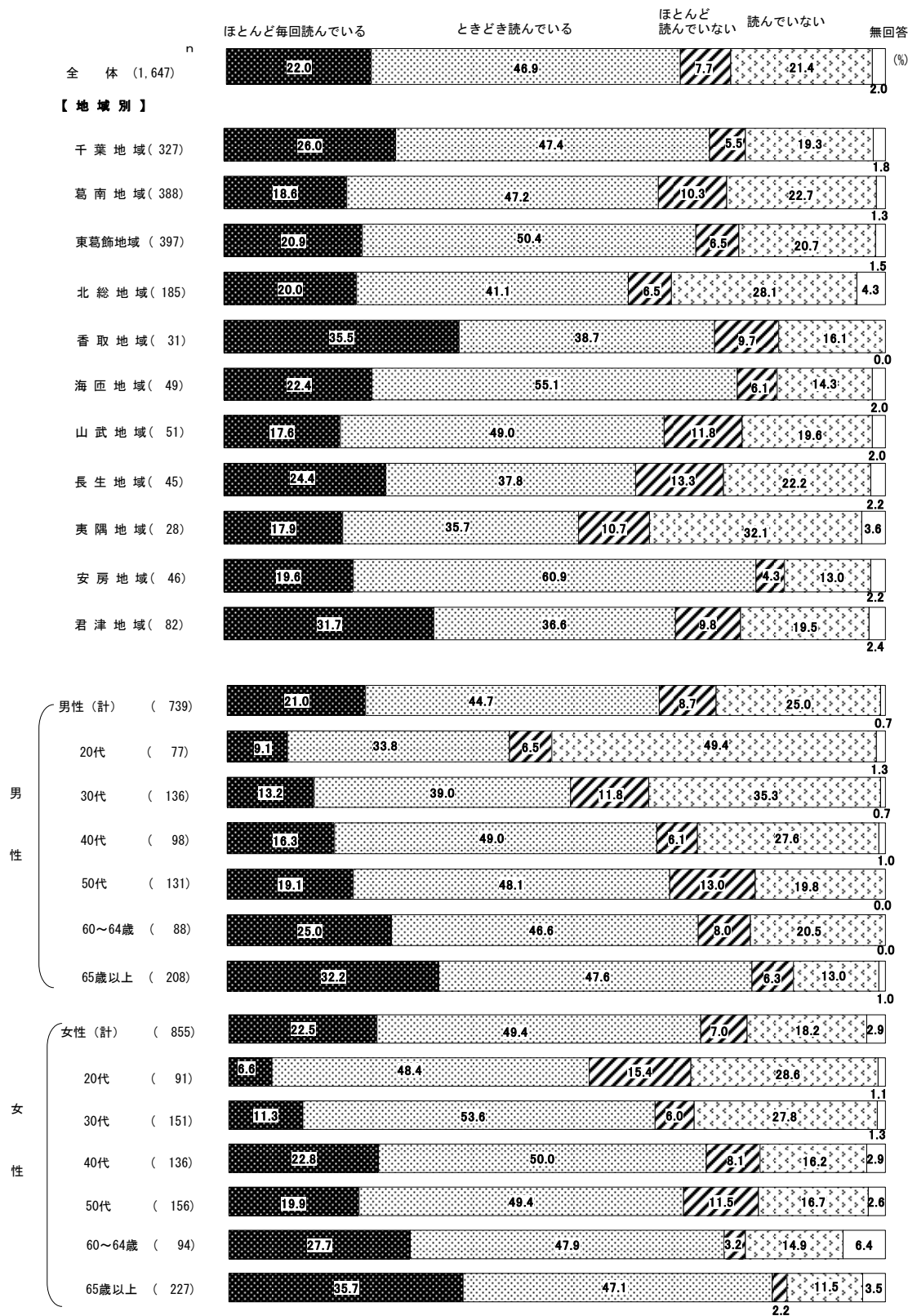
【地域別】

地域別にみると、『読んでいる』は“安房地域”(80.5%)が8割、“海匝地域”(77.5%)が約8割となっている。(図表7-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『読んでいる』は男女ともにおおむね年代が上がるほど高くなる傾向がみられ、特に、女性の65歳以上(82.8%)、男性65歳以上(79.8%)が約8割と他の年代に比べて高くなっている。一方、『読んでいない』は男性の20代(49.4%)が約5割で他の年代に比べて高くなっている。(図表7-6)

<図表7-6> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



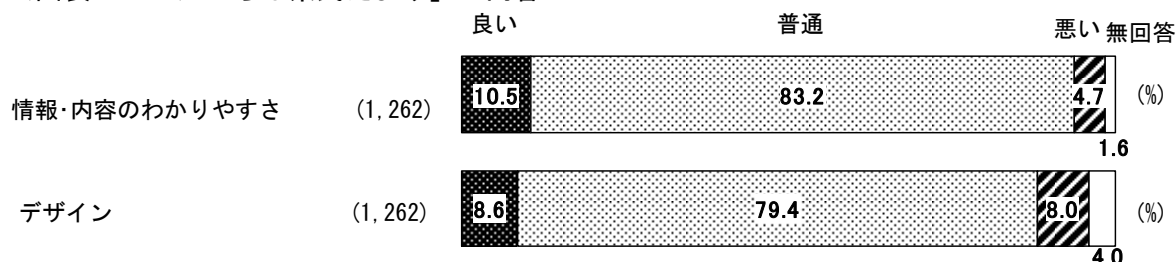
(3-1) 「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさ、デザインともに「良い」は1割、「普通」は8割を超える。

(問27で「1 ほとんど毎回読んでいる」「2 ときどき読んでいる」「3 ほとんど読まない」のいずれかをお答えの方に)

問27-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(〇はそれぞれ1つずつ)

<図表7-7> 「ちば県民だより」の内容について

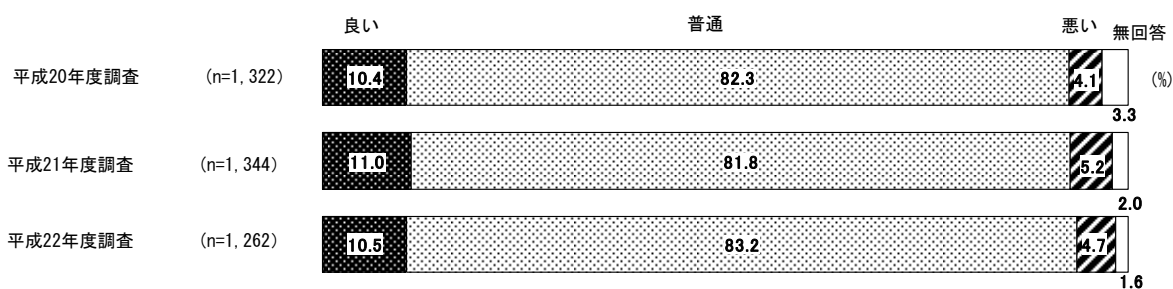


県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「ほとんど読まない」と回答した1,262人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」(10.5%)は1割、「普通」(83.2%)は8割を超えている。

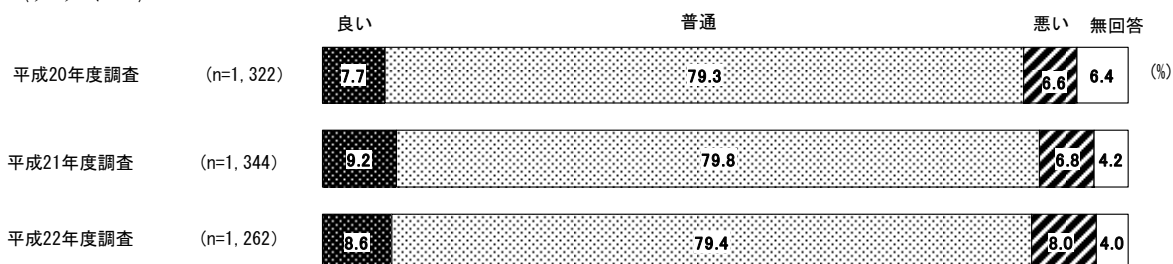
〈デザイン〉において、「良い」(8.6%)は約1割で、「普通」(79.4%)は約8割となっている。(図表7-7)

〔参考〕平成20年度・平成21年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

〈情報・内容のわかりやすさ〉



〈デザイン〉



【地域別】

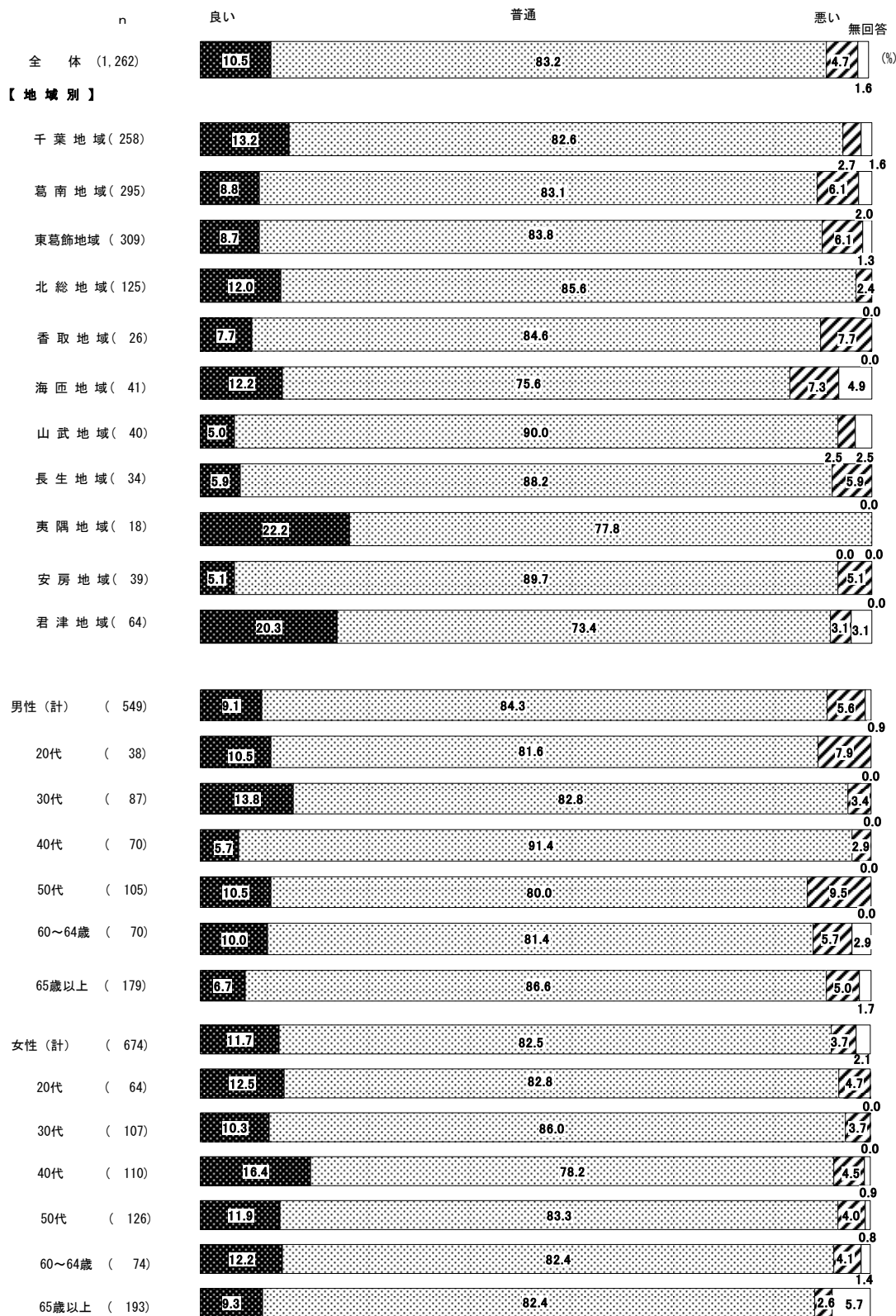
地域別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は“夷隅地域”（22.2%）、“君津地域”（20.3%）が2割を超えている。〈デザイン〉において、「良い」は“北総地域”（12.0%）で1割を越え、“東葛飾地域”、“君津地域”（ともに9.4%）、“千葉地域”（9.3%）で約1割で他の地域に比べ高くなっている。（図表7-8）

【性・年代別】

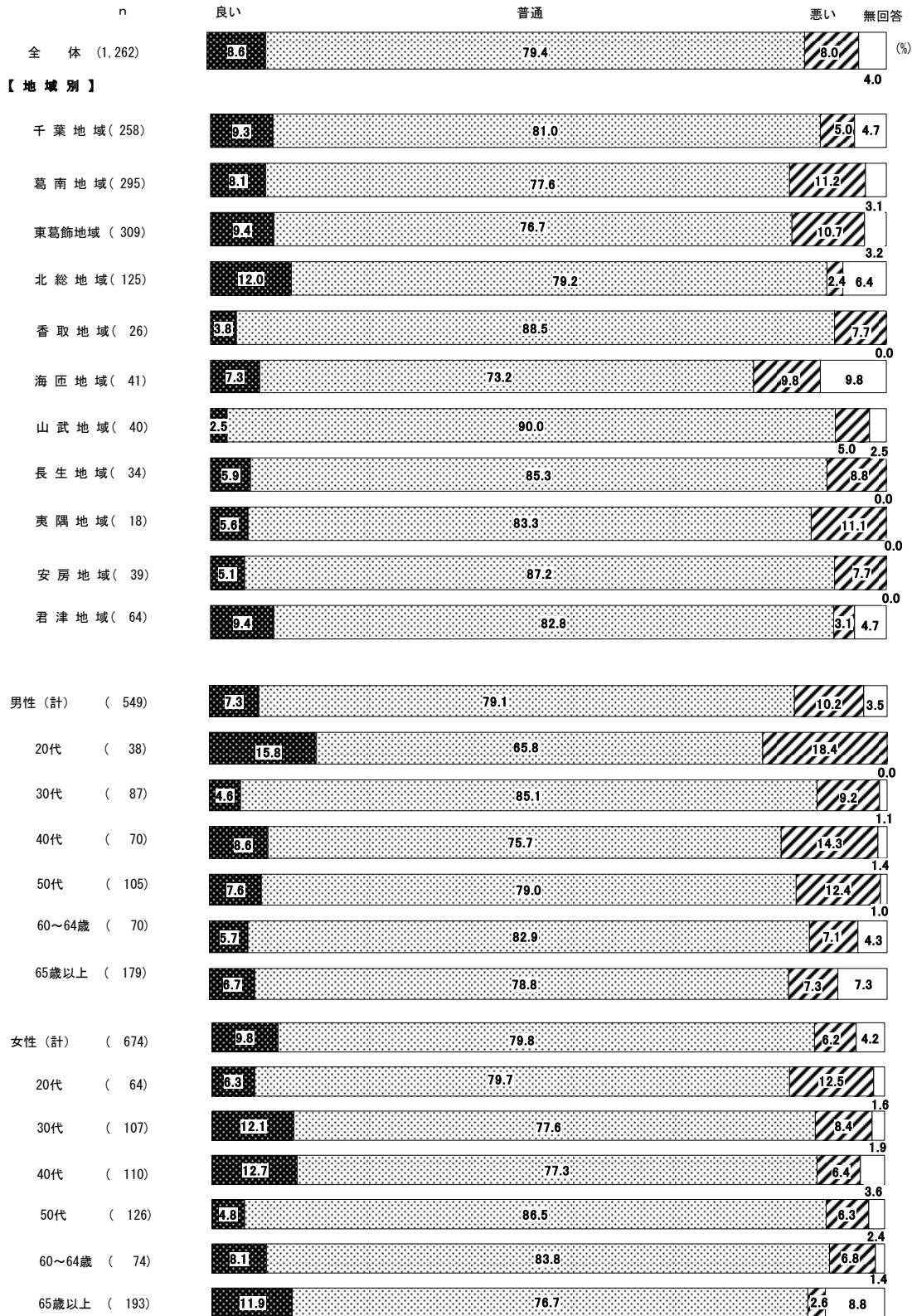
性・年代別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は女性の40代（16.4%）が1割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。〈デザイン〉において、「良い」は男性の20代（15.8%）が1割台半ばとなっている。（図表7-8）

<図表7-8> 「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

《情報・内容のわかりやすさ》



《デザイン》

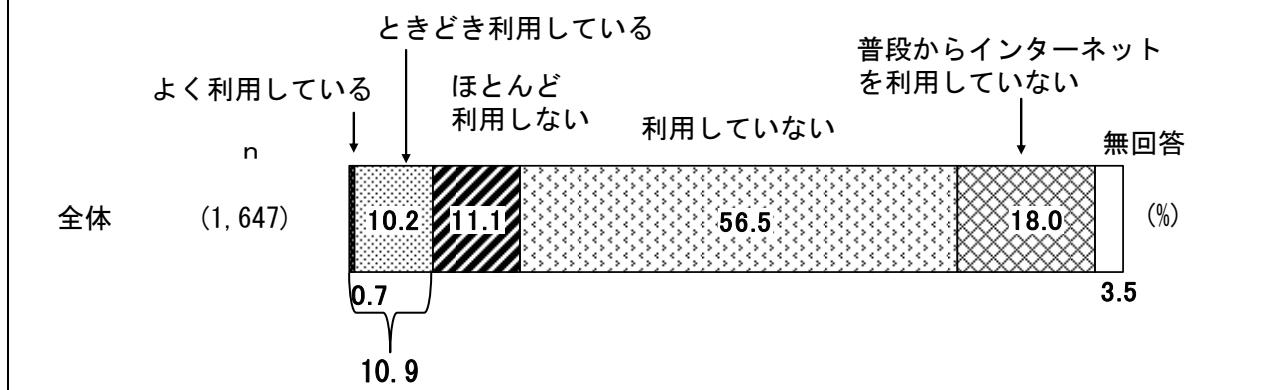


(4) 千葉県ホームページの利用頻度

◇『利用している』は1割台

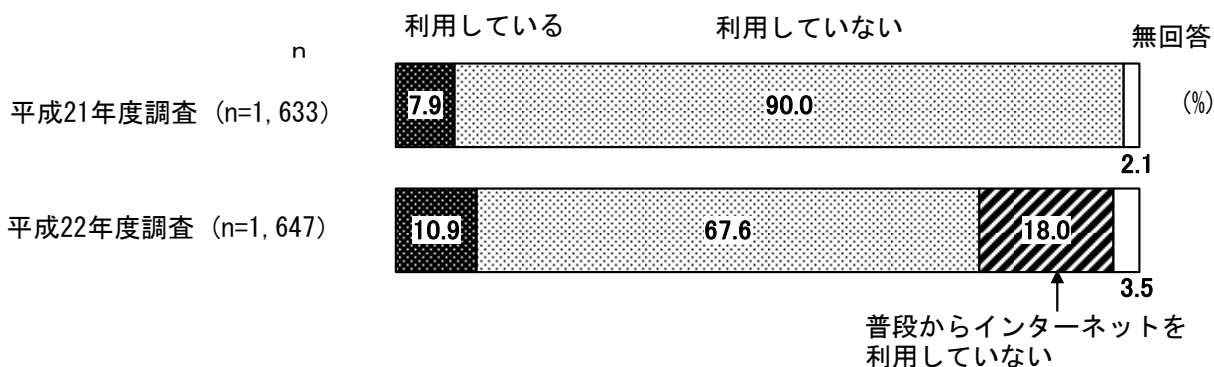
問28 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。(○は1つ)

<図表7-9>千葉県ホームページの利用頻度



千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」(0.7%)、「ときどき利用している」(10.2%)を合わせた『利用している』(10.9%)は1割台。一方、「ほとんど利用しない」(11.1%)、「利用していない」(56.5%)、「普段からインターネットを利用していない」(18.0%)を合わせた『利用していない』(85.6%)は、8割台半ばとなっている。約2割の人は、普段からインターネットを利用していない。(図表7-9)

【参考】平成20年度・平成21年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



*平成20年度に調査を実施していないため、平成21年度との比較。

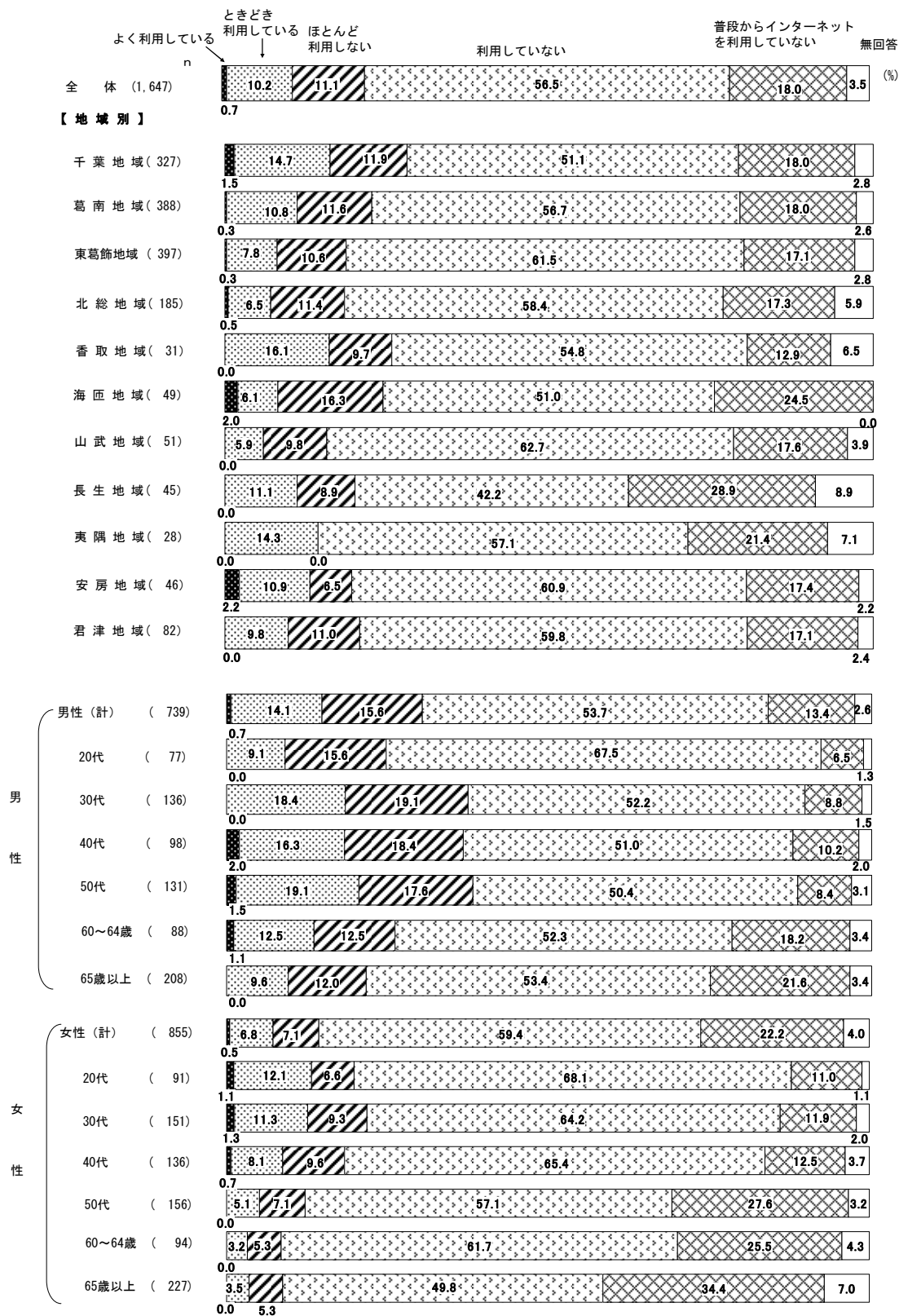
【地域別】

地域別にみると、『利用している』は“千葉地域”(16.2%)“香取地域”(16.1%)が1割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表7-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用している』は男性の50代(20.6%)が2割で他の年代に比べて高くなっている。(図表7-10)

<図表7-10>千葉県ホームページの利用頻度／地域別、性・年代別



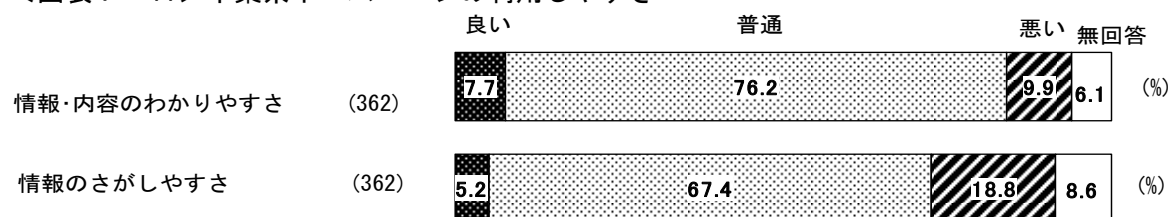
(4-1) 千葉県ホームページの利用しやすさ

◇情報・内容のわかりやすさ、情報のさがしやすさともに「良い」は約1割、「普通」は7割台半ば

(問28で「1 よく利用している」「2 ときどき利用している」「3 ほとんど利用しない」のいずれかをお答えの方に)

問28-1 千葉県ホームページの内容についておたずねします。(〇はそれぞれ1つつ)

〈図表7-11〉千葉県ホームページの利用しやすさ



千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「あまり利用しない」と回答した362人を対象に、千葉県ホームページの利用しやすさについて聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」(7.7%)は約1割。一方「普通」(76.2%)は7割台半ばである。〈情報のさがしやすさ〉において、「良い」(5.2%)は1割に満たない。「普通」(67.4%)は約7割である。(図表7-11)

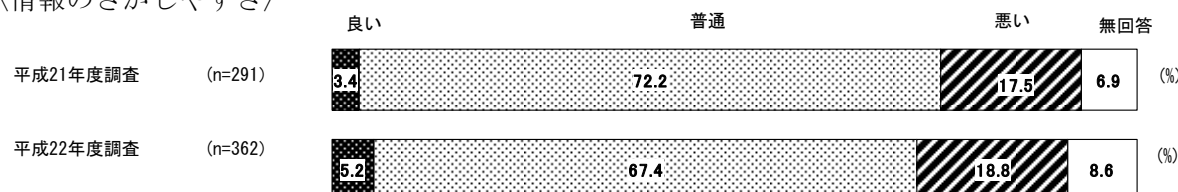
〔参考〕平成21年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

〈情報・内容のわかりやすさ〉



〈情報のさがしやすさ〉



*平成20年度に調査を実施していないため、平成21年度との比較。

【地域別】

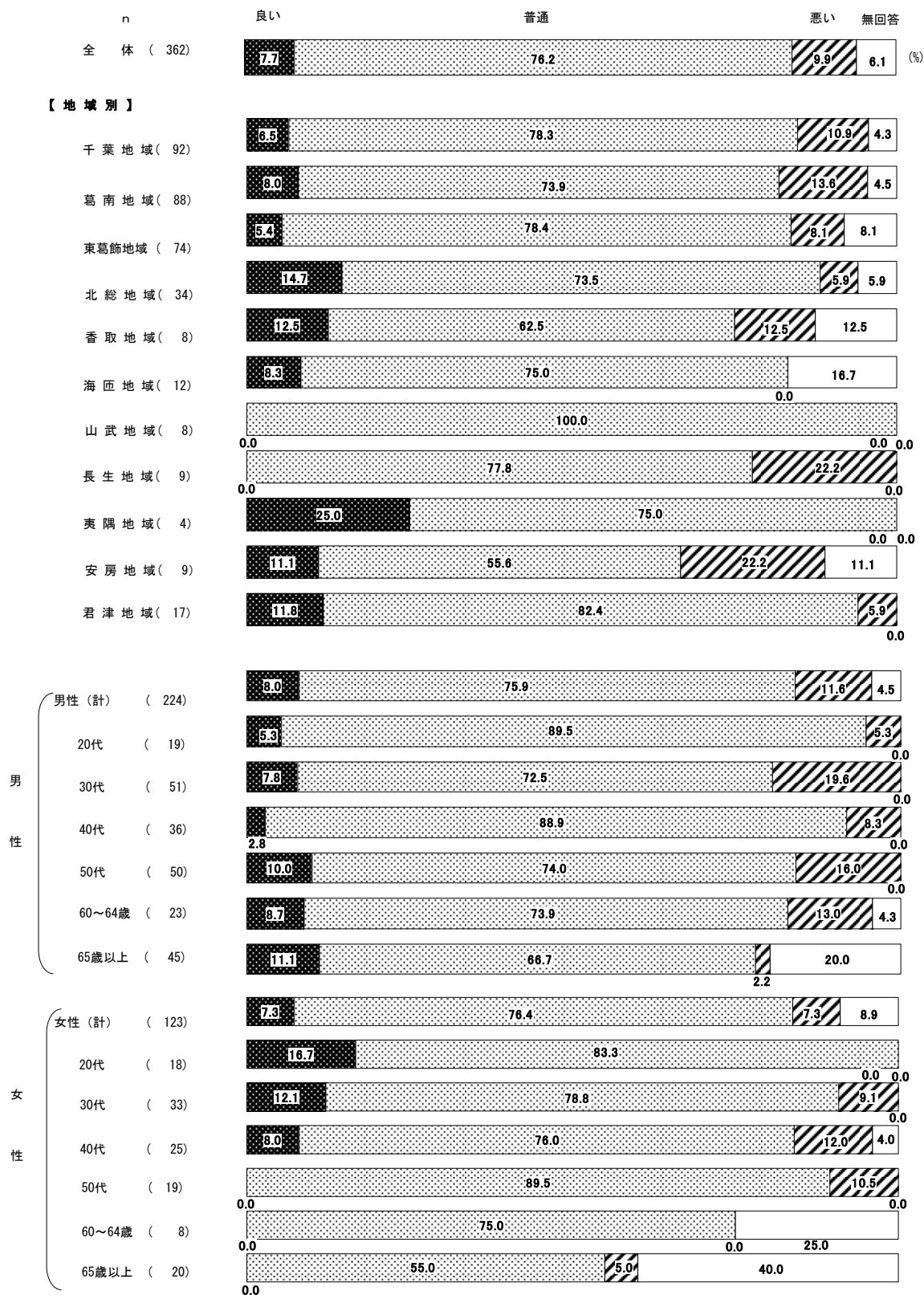
地域別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は“夷隅地域”(25.0%)が他の地域に比べ高くなっている。〈情報のさがしやすさ〉において、「良い」は“山武地域”(12.5%)、“北総地域”(11.8%)が1割を超えている。(図表7-12)

【性・年代別】

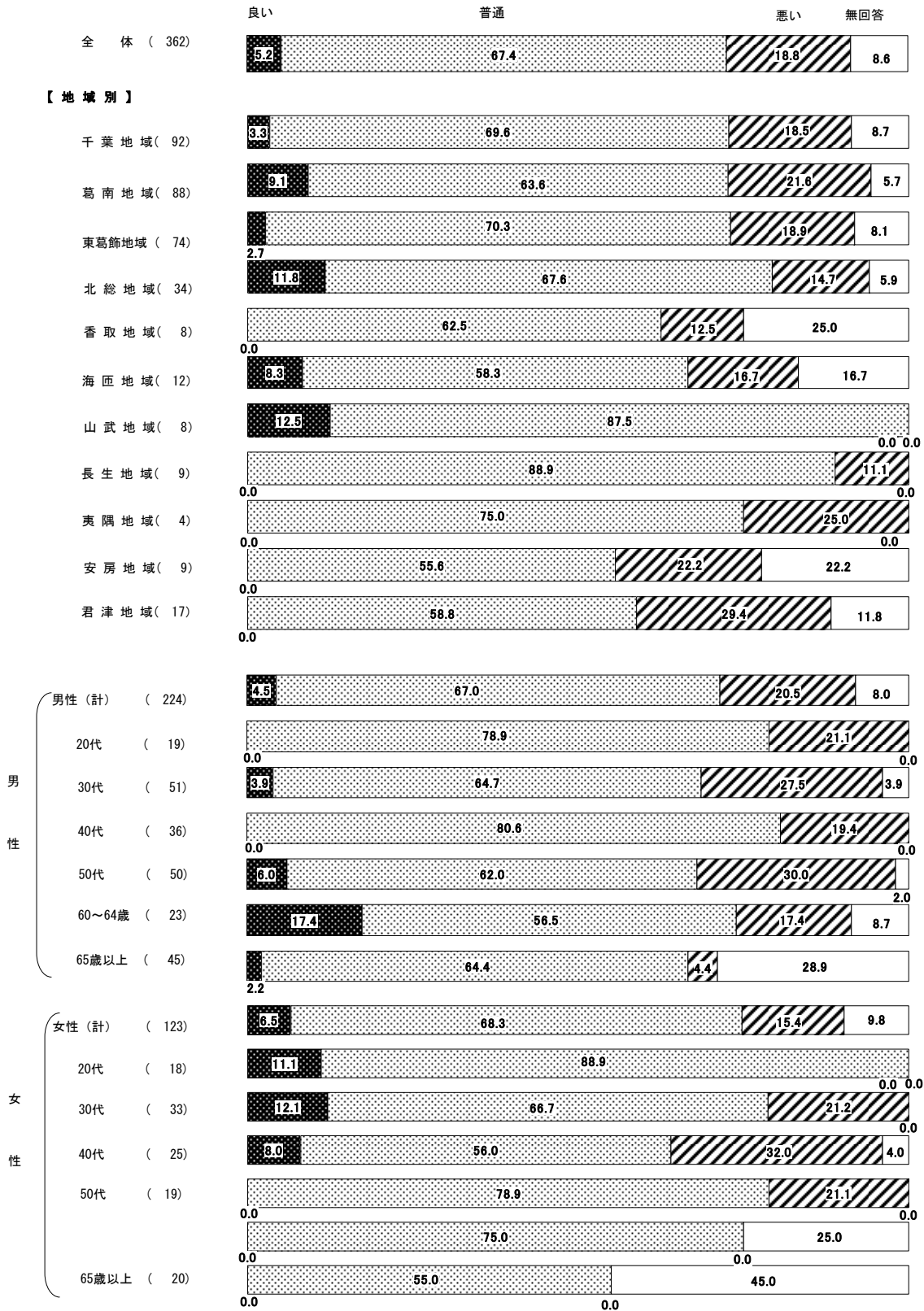
性・年代別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は女性の20代(16.7%)が1割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。〈情報のさがしやすさ〉において、「良い」は男性の60~64歳(17.4%)が約2割で他の年代に比べて高くなっている。(図表7-12)

<図表7-12>千葉県ホームページの利用しやすさ（情報・内容のわかりやすさ）

／地域別、性・年代別



千葉県ホームページの利用しやすさ（情報のさがしやすさ）／地域別、性・年代別

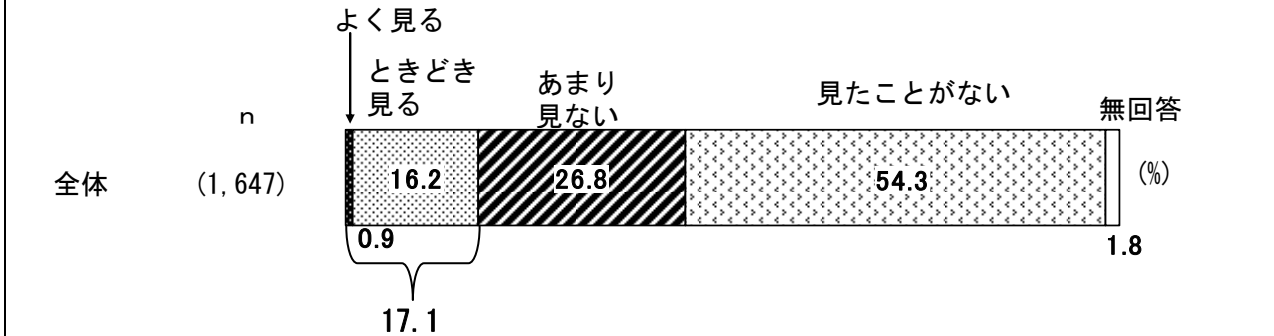


(5) 県の広報番組の視聴状況

◇『見る』は約2割、「見たことがない」は5割台半ば

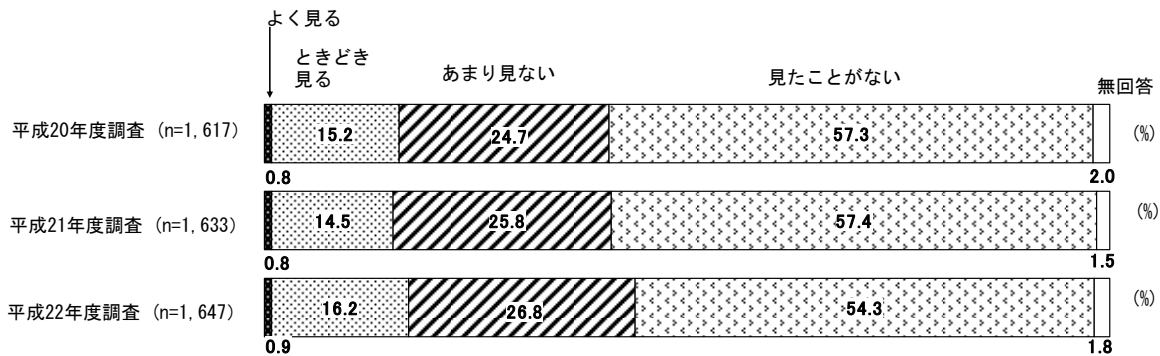
問29 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。(〇は1つ)

<図表7-13> 県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(0.9%)と「ときどき見る」(16.2%)を合わせた『見る』(17.1%)は約2割である。一方、「あまり見ない」(26.8%)は2割台半ば、「見たことがない」(54.3%)は5割台半ばと最も多い。(図表7-13)

【参考】平成20年度・平成21年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

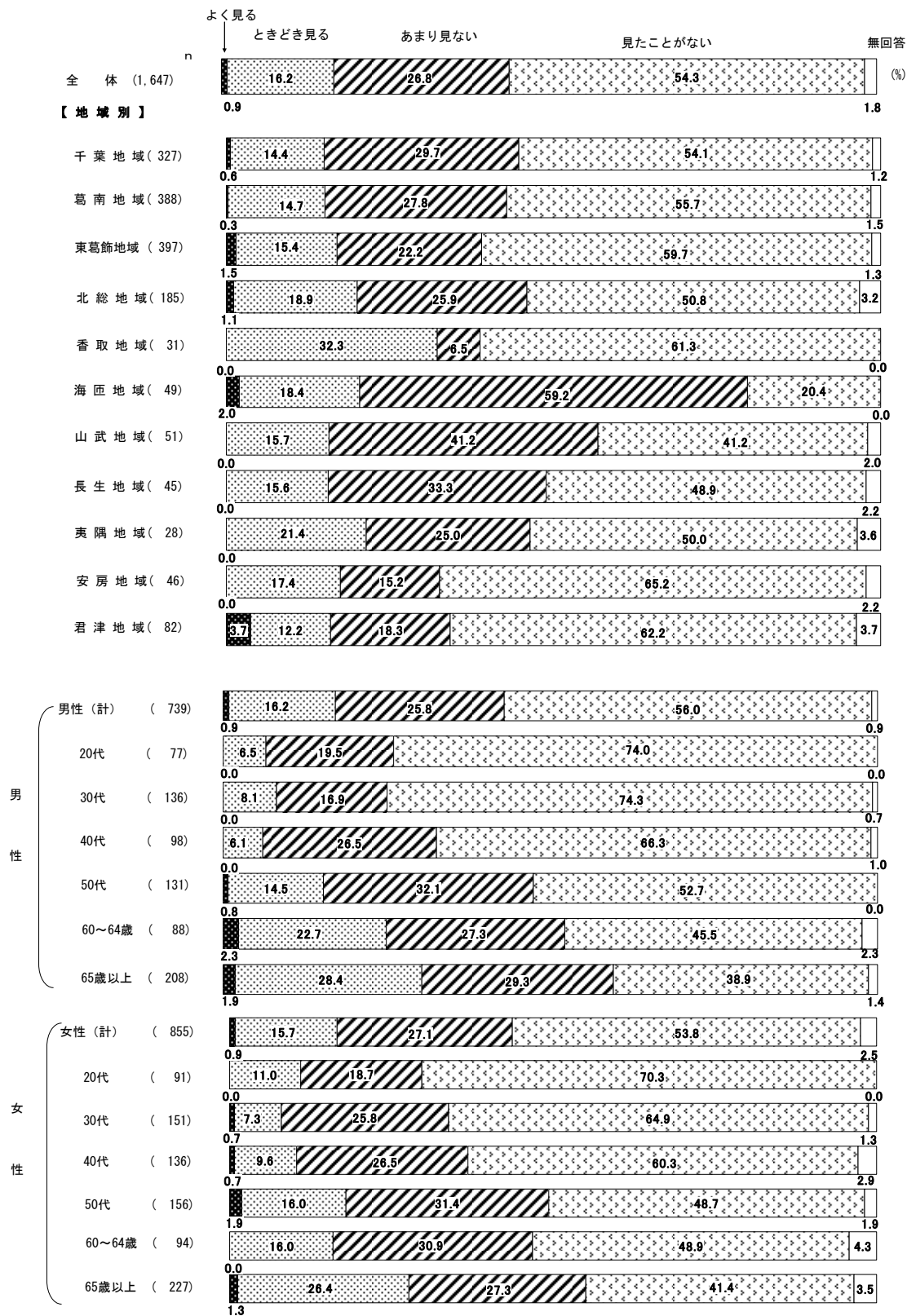
地域別にみると、『見る』は、“香取地域”(32.3%)が3割で他の地域に比べて高くなっている。

(図表7-14)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『見る』は男性の65歳以上(30.3%)、女性の65歳以上(27.7%)が約3割で他の年代に比べて高くなっている。(図表7-14)

<図表7-14> 県の広報番組の視聴状況／地域別、性・年代別

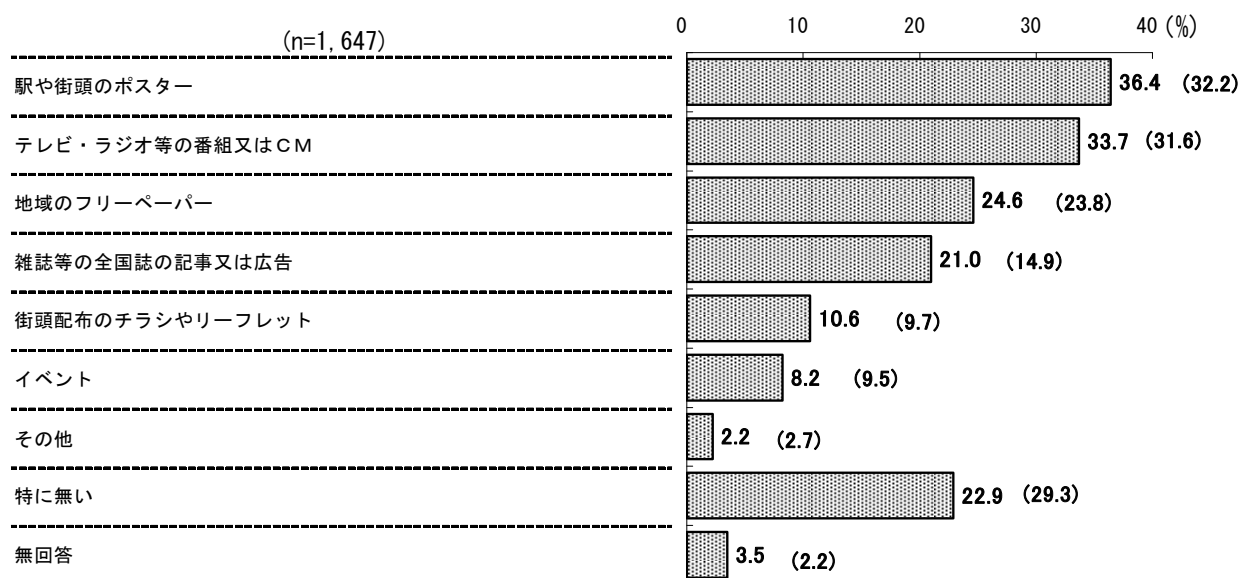


(6) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

◇「駅や街頭のポスター」「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」が3割台半ば

問30 あなたは、県の広報紙や広報番組（問26の選択肢「1」～「5」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。（○はいくつでも）

＜図表7-15＞県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況（複数回答）



注) () の数字は平成21年度の同様の項目による調査結果 n=1,633

県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況を聞いたところ、「駅や街頭のポスター」(36.4%)が3割台半ばで最も高くなっている。以下、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」(33.7%)、「地域のフリーペーパー」(24.6%)と続いている。(図表7-15)

(※問26の選択肢「1」～「5」に掲げるものとは、『1 県の広報紙「ちば県民だより」』、『2 千葉県ホームページ』、『3 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、『特集』』、『4 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、『ウィークリー千葉県』』、『5 ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・ブレッシング・モーニング」、『チバ・プリフェクチャー・アップデート』』を指す)

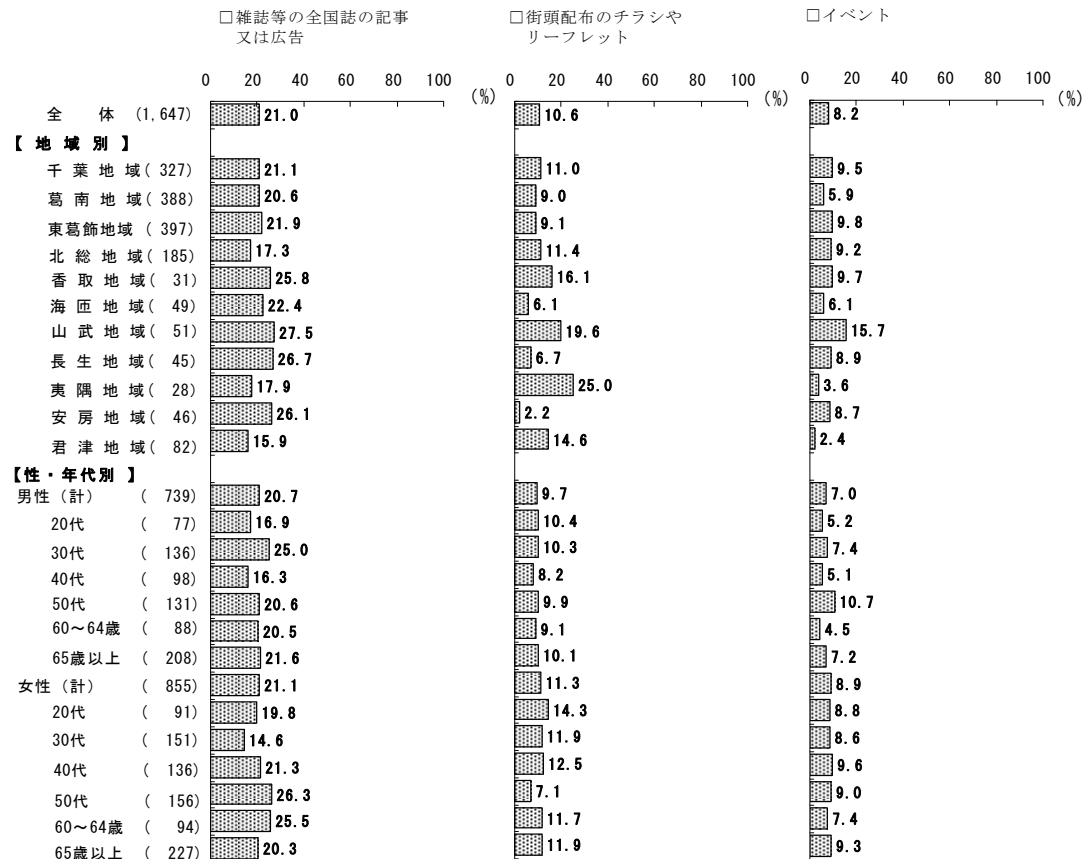
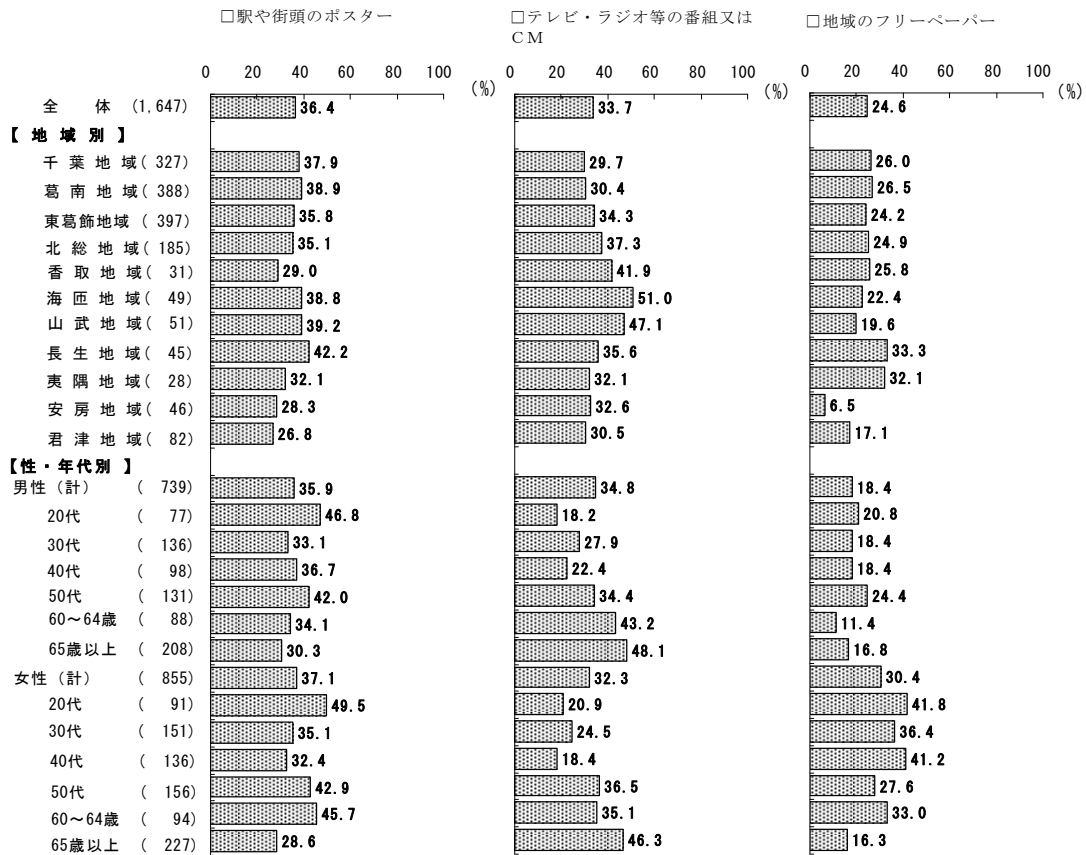
【地域別】

地域別にみると、「駅や街頭のポスター」は“長生地域”(42.2%)が4割を超え、他の地域に比べて最も高くなっている。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は“海匝地域”(51.0%)が5割で、他の地域に比べて高くなっている。(図表7-16)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「駅や街頭のポスター」は女性の20代(49.5%)が約5割で他の年代に比べて高くなっている。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は、男女ともにおおむね年代が上ると高くなる傾向がみられる。(図表7-16)

<図表7-16> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況／地域別、性・年代別

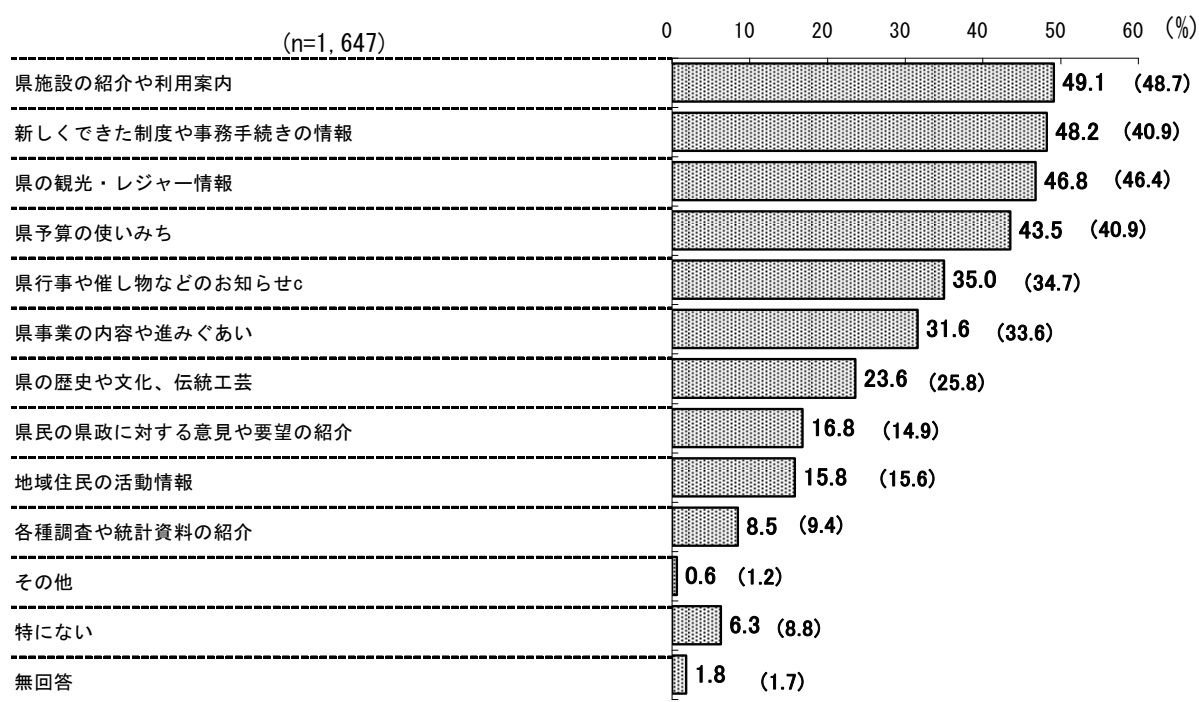


(7) 県の知りたい情報

◇「県施設の紹介や利用案内」「新しくできた制度や事務手続きの情報」「県の観光・レジャー情報」が約5割

問31 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。(〇はいくつでも)

<図表7-17>県の知りたい情報(複数回答)



注) () の数字は平成21年度の同様の項目による調査結果 n=1,633

県の知りたい情報を聞いたところ、「県施設の紹介や利用案内」(49.1%)が約5割と最も高くなっている。以下、「新しくできた制度や事務手続きの情報」(48.2%)も同様に約5割、「県の観光・レジャー情報」(46.8%)が4割台半ばと続いている。(図表7-17)

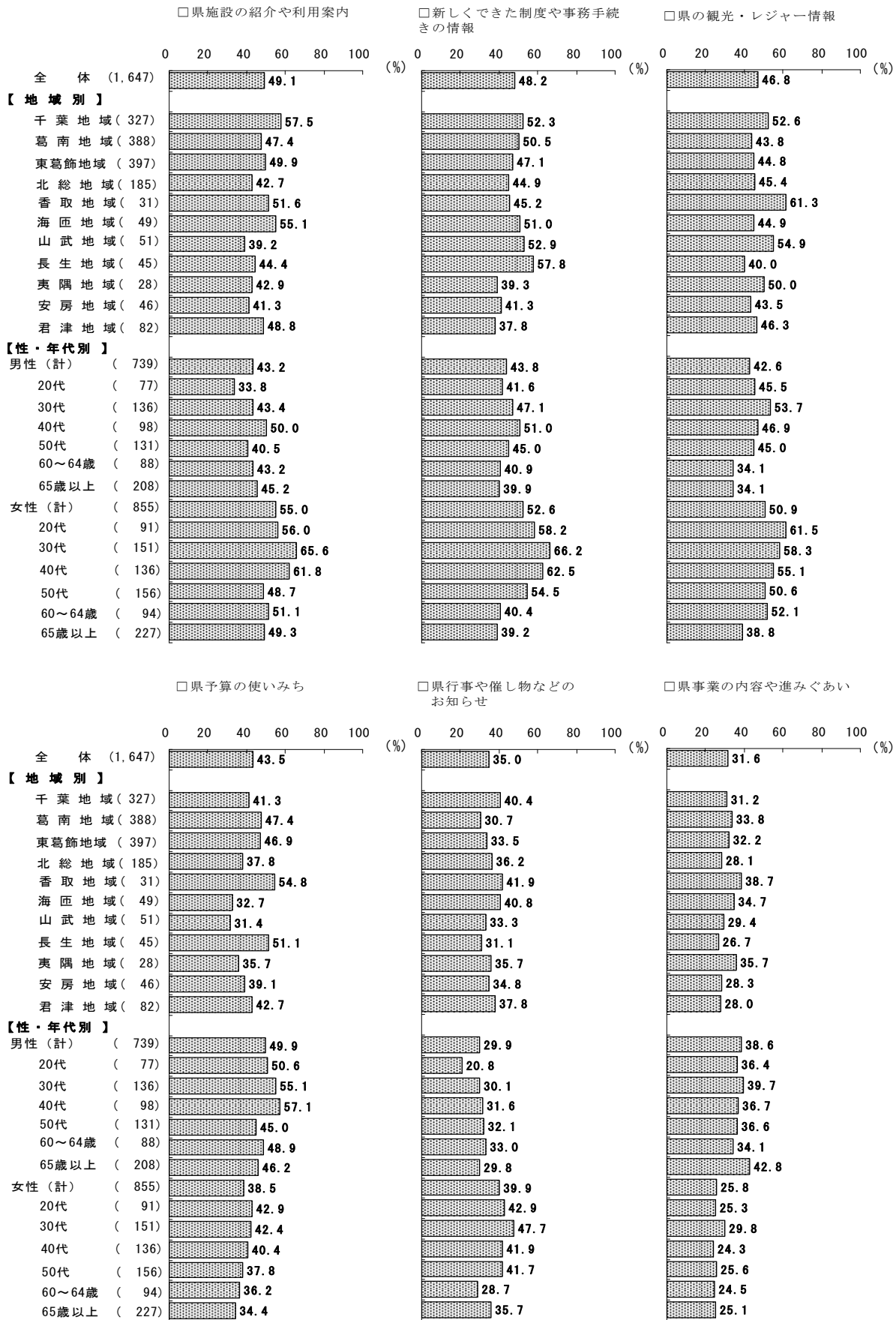
【地域別】

地域別にみると、「県施設の紹介や利用案内」は“千葉地域”(57.5%)が約6割と最も高くなっている。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は“長生地域”(57.8%)が約6割と最も高くなっている。「県の観光・レジャー情報」は“香取地域”(61.3%)が6割を超えて最も高くなっている。(図表7-18)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県施設の紹介や利用案内」は女性の30代(65.6%)が6割台半ばで最も高く、女性の40代(61.8%)が続いている。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は、女性の30代(66.2%)、女性の40代(62.5%)がいずれも6割を超える。「県の観光・レジャー情報」は女性の20代(61.5%)が6割を超えて最も高くなっている。(図表7-18)

<図表7-18> 県の知りたい情報／地域別、性・年代別（上位6項目）

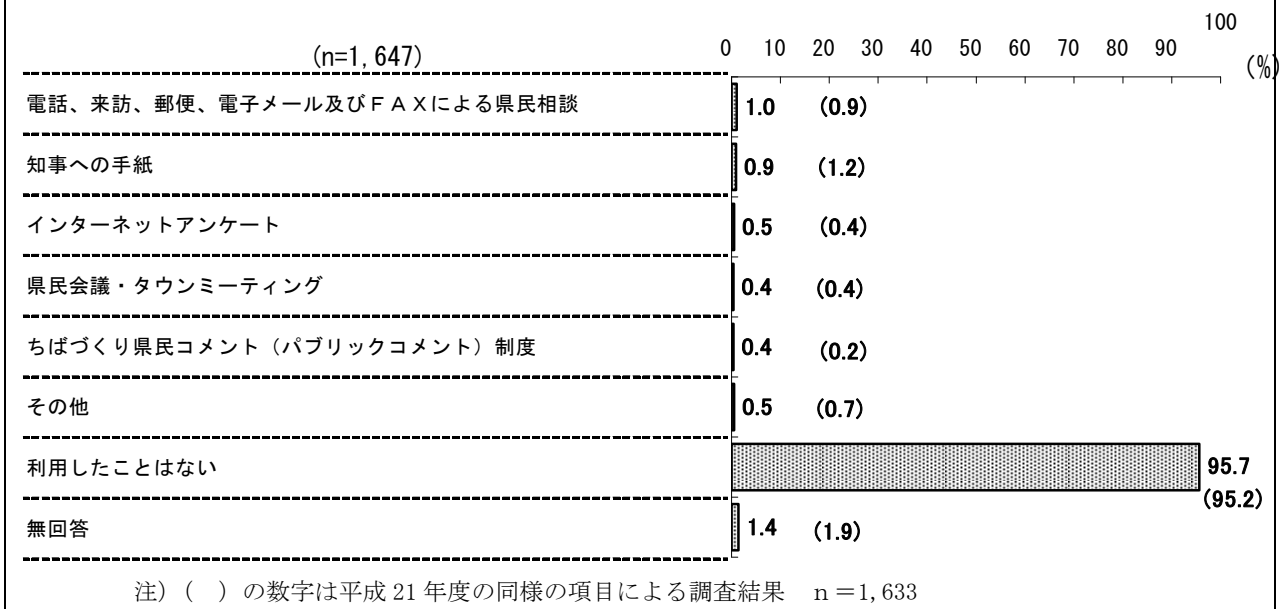


(8) 知事への手紙などで意見を述べた経験

◇「利用したことがない」が9割台半ば

問32 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙などで今までに意見を述べたことがありますか。(〇はいくつでも)

<図表7-19> 知事への手紙などで意見を述べた経験 (複数回答)



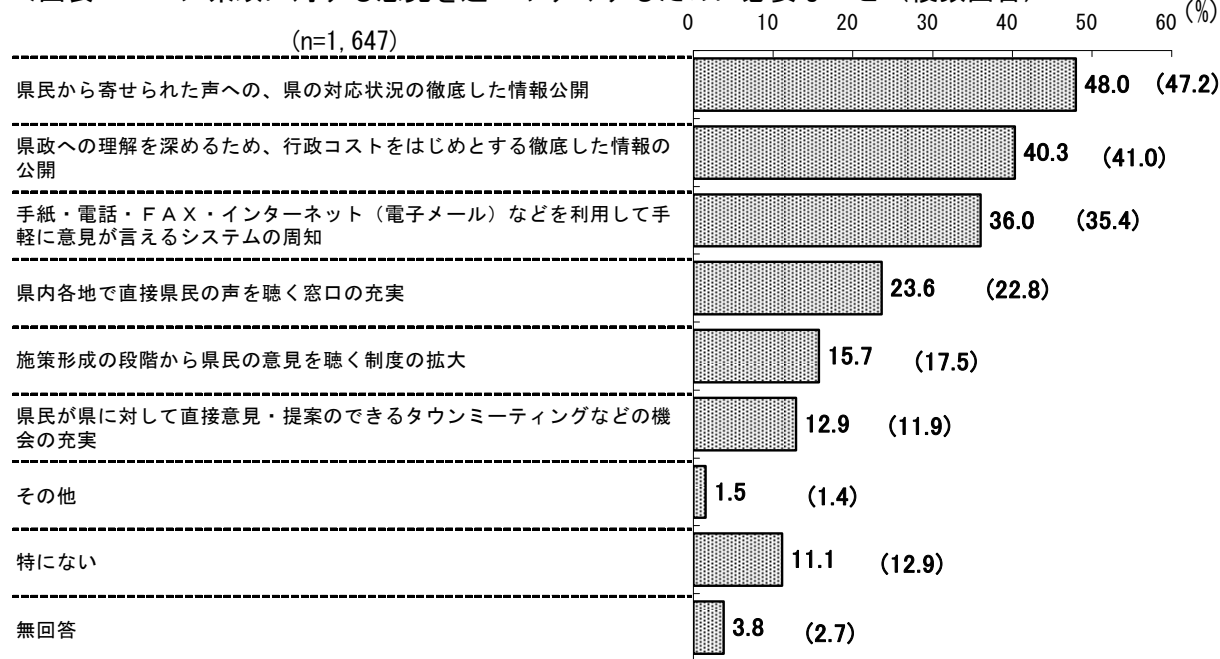
知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」(95.7%)が9割台半ばとなっている。(図表7-19)

(9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

◇「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が約5割

問33 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

<図表7-20> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと (複数回答)



注) () の数字は平成21年度の同様の項目による調査結果 n=1,633

県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(48.0%)が約5割となっており、以下、「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(40.3%)、「手紙・電話・FAX・インターネット（電子メール）などを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(36.0%)が続いている。(図表7-20)

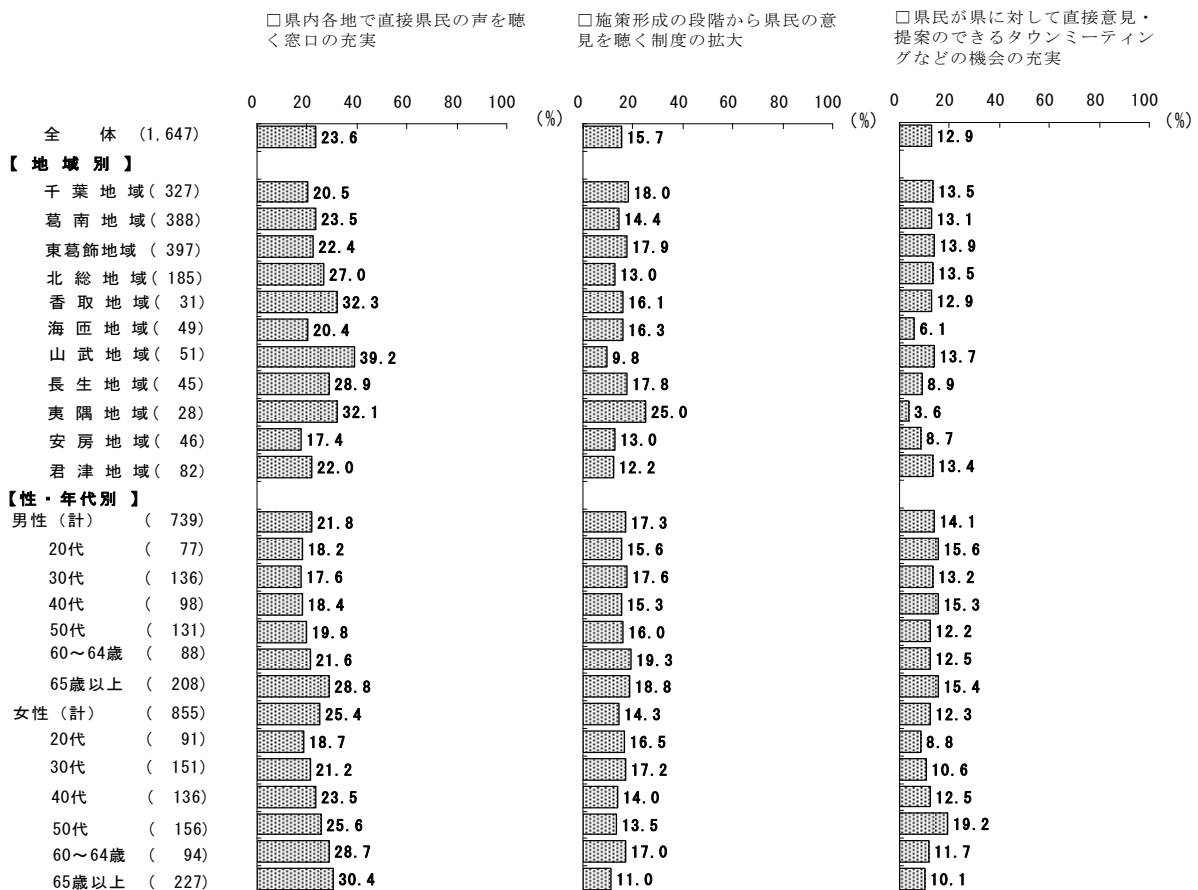
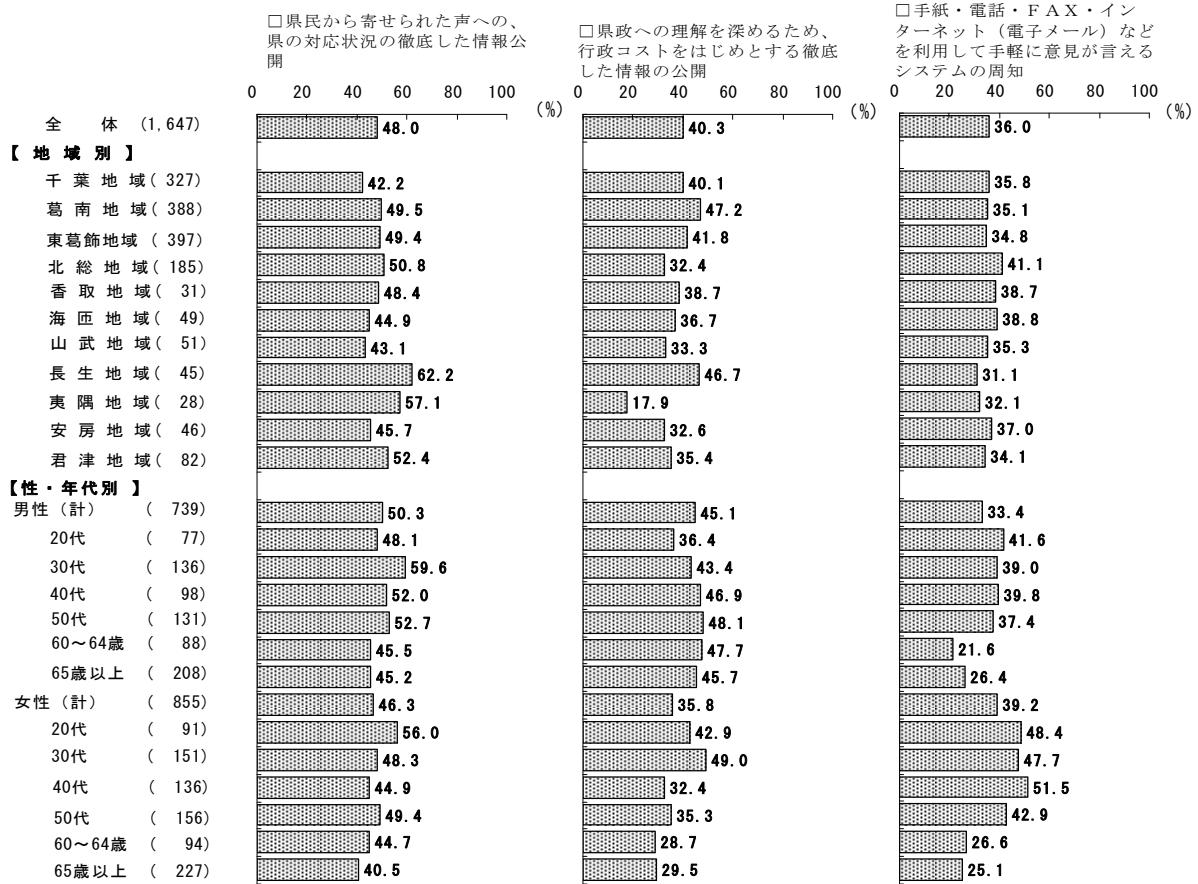
【地域別】

地域別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は“長生地域”(62.2%)が6割台と最も高い。「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」は“葛南地域”(47.2%)、“長生地域”(46.7%)が4割台半ばと高くなっている。(図表7-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は男性の30代(59.6%)が約6割、女性の20代(56.0%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」は女性の30代(49.0%)、男性の50代(48.1%)、60~64歳(47.7%)が約5割で他の年代に比べて高くなっている。(図表7-21)

＜図表7-21＞県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと／地域別、性・年代別

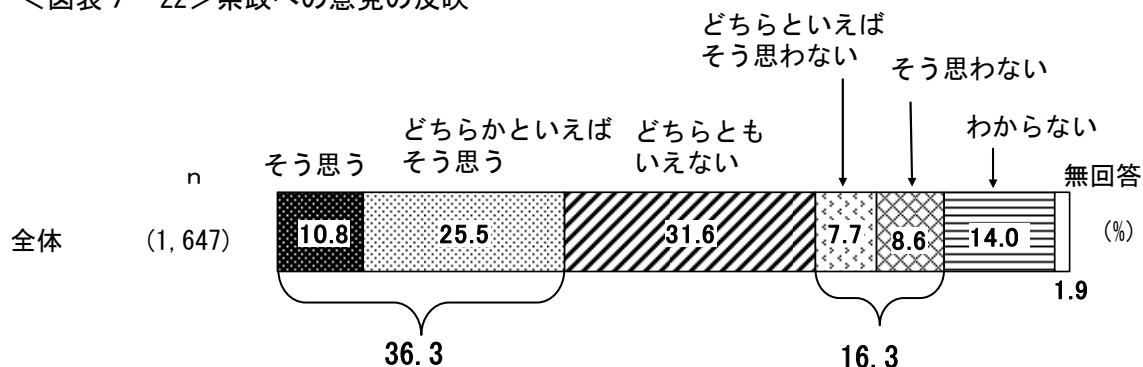


(10) 県政への意見の反映

◇『そう思う』は3割台半ば

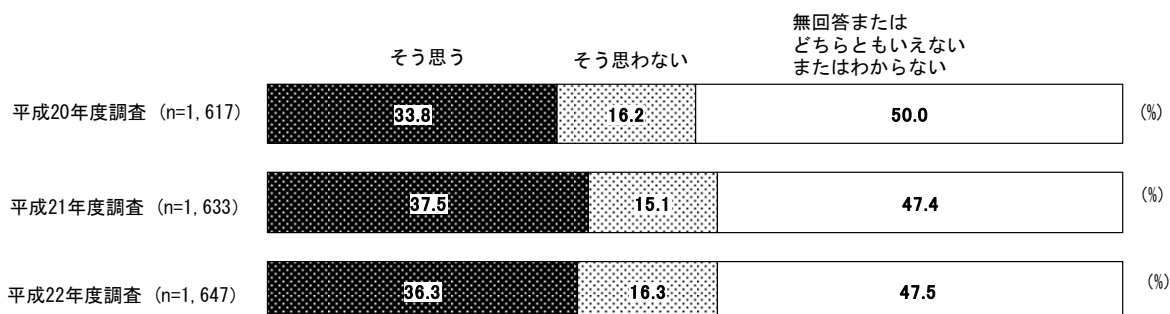
問34 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。(○は1つ)

<図表7-22> 県政への意見の反映



自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(10.8%)と「どちらかといえばそう思う」(25.5%)を合わせた『そう思う』(36.3%)は3割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(7.7%)と「そう思わない」(8.6%)を合わせた『そう思わない』(16.3%)は1割台半ばである。(図表7-22)

【参考】平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“香取地域”(54.9%)が5割を超え他の地域に比べて高くなっている。(図表7-23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は、男性の20代(46.8%)、男性の65歳以上(44.7%)、40代(42.8%)が4割台と他の年代と比べ高くなっている。(図表7-23)

<図表7-23> 県政への意見の反映／地域別、性・年代別

